

北陸新幹線の整備促進を求める意見書

北陸新幹線は、国土を強靱化し、日本全体の経済を元気にする成長戦略そのものである。金沢・敦賀間は、少なくとも3年短縮して完成・開業の実現を図られなければならない。

現在、与党においては、工期短縮に向け、議論を重ねてきているが、政府との検討を急ぎ、整備スキームを1日も早く見直さなければならない。

一方、リニア中央新幹線については、東京・大阪間の全線同時開業の実現に向け、自由民主党は、名古屋・大阪間の建設資金3兆6千億円の負担を政府に求めており、最終的に利子分を国が負担しても、その額は最大1兆8千億円と報じられている。

しかし、建設中の北陸新幹線は、地方も建設費を負担する、先行した国家プロジェクトであるにもかかわらず、開業までに半世紀もの期間を要している。貸付料の新規着工区間の前倒し活用や算定期間の延長をはじめ、公共事業費の拡充など積極的な財政措置を講じることを求める。

大都市中心の政策は、地域活力の再生を阻むだけでなく、地域間格差をさらに拡大し、地方重視を掲げる安倍政権の政策にも反する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月26日

あわら市議会